

資料編

1. 実行計画策定体制及び策定経過

(1) 高砂市地球温暖化対策地域協議会設置要綱

(設置)

第1条 地球温暖化対策の推進に関する法律（平成10年法律第117号）第26条第1項の規定に基づき、高砂市地球温暖化対策地域協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(目的)

第2条 協議会は、高砂市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（以下「実行計画」という。）を推進するため、市民、事業者、市が行う具体的な取組みについて協議し、推進することを目的とする。

(協議事項)

第3条 協議会は、次に掲げる事項について協議する。

- (1) 実行計画の進捗状況に関すること。
- (2) 実行計画の推進に必要な取組みに関すること。
- (3) 実行計画の推進に必要な情報に関すること。
- (4) その他、協議会の目的を達成するために必要な事項に関すること。

(組織)

第4条 協議会は、委員16名以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 地域地球温暖化防止活動推進センター
- (3) 地球温暖化防止活動推進員
- (4) 事業者（企業、商工会議所、農業協同組合等）
- (5) 住民（温暖化対策等に関心がある者）
- (6) 地球温暖化対策に関する活動を行う団体（NPO等）

(任期)

第5条 委員の任期は2年とする。ただし再任することを妨げない。

(謝礼金)

第6条 委員の謝礼金は、会議1回につき5,000円とする。

(費用弁償)

第7条 費用弁償による費用は、職務のため旅行した場合の費用（以下「旅費」という。）とし、宿泊料、鉄道費、船賃及び車賃とする。

2 委員の旅費については、高砂市職員等の旅費に関する条例（昭和35年高砂市条例第6号）及び高砂市職員等の旅費に関する条例施行規則（昭和47年高砂市規則第11号）の規定を準用する。

(会長及び副会長)

第8条 協議会に、会長及び副会長を置く。

2 会長は、委員のうちから互選する。

3 会長は、協議会を統括し、会議の議長となる。

4 副会長は、委員の中から会長が指名する。

5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故のあるとき又は会長の欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第9条 協議会の会議は、会長が招集する。ただし、委員委嘱後の最初の協議会は、市長が招集する。

2 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させることができる。

(庶務)

第10条 協議会の庶務は、生活環境部環境経済室環境政策課において行う。

(委任)

第11条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

附 則

この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成26年11月1日から施行する。

(2) 高砂市地球温暖化対策地域協議会名簿

(令和4年11月1日現在)

	氏名	所属	備考
1	ツチカワ 忠浩 土川 忠浩	兵庫県立大学 環境人間学部 教授	学識経験者
2	カナタニ ヨウスケ 金谷 浩介	公益財団法人ひょうご環境創造協会 環境創造部次長兼温暖化対策第1課長	兵庫県地球温暖化 防止活動推進センター
3	アカボリ ケイジ 赤堀 敬二	兵庫県地球温暖化防止活動推進員	兵庫県地球温暖化 防止活動推進員
4	ニシムラ ミツヒロ 西村 充弘	兵庫県地球温暖化防止活動推進員	兵庫県地球温暖化 防止活動推進員
5	ナカシマ トシカズ 中島 敏和	高砂市環境保全協議会 (三菱重工業株式会社高砂製作所安全環境管理部 高砂安全環境課主席チーム統括)	事業者
6	ハマダ 耕資 濱田 耕資	一般社団法人高砂青年会議所理事長	事業者
7	アマノ 勝人 天野 勝人	高砂商工会議所事務局長	事業者
8	オオニシ マサヤ 大西 雅也	兵庫南農業協同組合伊保支店長	事業者
9	ゴタンダ ヨウジ 五反田 光二	関西電力送配電株式会社兵庫支社姫路総務部 担当部長(東播磨・北播磨)	事業者
10	オオクラ ヒロユキ 篠倉 博之	大阪ガス株式会社エナジーソリューション事業部 業務部 地域共創第2チーム 支配人補佐	事業者
11	タケウチ シゲオ 竹内 茂雄	NPO法人高砂キッズ・スペース事務局長	住民
12	ヨシダ 耕三 善田 耕三	あすか代表	住民
13	カジ ナオミツ 加治 直光	環境計量士	住民
14	ヤマモト キヨ子 山本 清子	ご当地エネルギーはりま会員	住民
15	ヤマモト ハジメ 山本 元	NPO法人気候ネットワーク	地球温暖化対策に 関する団体

(3) 高砂市地球温暖化対策地域協議会開催経過

開催日	会議名	議事内容
令和4年 6月30日	第1回地域協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・国・県における温室効果ガス削減にかかる目標設定について ・高砂市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）改訂に伴う市民アンケート調査票について ・高砂市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）改訂に伴う事業者アンケート調査票について ・今後のスケジュールについて
令和4年 7月15日～31日	高砂市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）改訂に伴う市民・事業者アンケート実施	<ul style="list-style-type: none"> ・高砂市が脱炭素社会に向けて取り組んでいくため、市民・事業者等との連携や理解が必要不可欠であると考え、市民・事業者に対して再生可能エネルギー導入等に対する意識調査を実施した
令和4年 11月18日	第2回地域協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化防止に関する市民アンケート調査結果について ・地球温暖化防止に関する事業所アンケート調査結果について ・高砂市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）素案について
令和5年 1月20日	第3回地域協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次高砂市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（素案）についてのパブリックコメント（意見募集）結果について ・高砂市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）計画案について

2. アンケート調査結果

(1) アンケート調査票

① 市民アンケート調査票

地球温暖化防止に関するアンケート調査票

1. あなたご自身のことについて

問1. 以下の項目それぞれについて、あてはまる番号を1つずつ選び、○をつけてください。

世帯主の年齢	① 18~29歳 ② 30歳代 ③ 40歳代 ④ 50歳代 ⑤ 60歳以上
居住形態	1. 持ち家(一戸建て) 2. 持ち家(マンション等集合住宅) 3. 賃貸(一戸建て) 4. 賃貸(マンション等集合住宅) 5. 社宅・寮・シェアハウス等 6. その他()
住居の築年数	① 10年未満 ② 10年以上20年未満 ③ 20年以上 ④ わからない
居住地域	1. 高砂 2. 荒井 3. 伊保 4. 中筋 5. 曾根 6. 米田 7. 阿弥陀 8. 北浜

2. 地球温暖化に関する取組について

問2. 地球温暖化に関する情報を主にどこで知りますか。1つ選んでください。

1つ選んで○をつけてください	
1. テレビのニュースや番組	2. 新聞
3. インターネット・SNS	4. 書籍・雑誌
5. 学校・職場	6. 行政の広報
7. 友人・知人・家族	8. その他()

問3. 地球温暖化の影響について最も不安に感じることは何ですか。1つ選んでください。

1つ選んで○をつけてください
1. 異常気象による集中豪雨や大型台風、猛暑などによる災害発生(水害や渇水の危険性の増大)
2. 農林水産業への影響(不作、病害虫の異常発生、漁獲高の減少など)
3. 生態系への影響(動植物の生息環境の変化、種の絶滅による生物多様性の喪失)
4. 健康被害(熱中症リスクの増大など)への影響
5. 猛暑による冷房などエネルギー使用量増加に伴う家計負担への影響
6. 不安に感じることはない
7. わからない

問4. あなたは、「カーボンニュートラル」という言葉をご存知でしたか。1つ選んでください。

■カーボンニュートラルとは、二酸化炭素などの温室効果ガスの「排出量」から、森林などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることを意味しています。

1つ選んで○をつけてください		
1. 知っていた	2. 名前を聞いたことはあるが、よく知らない	3. 聞いたことがない

問5. 2021(令和3)年7月に高砂市長は「2050年高砂市ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、高砂市では、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロにする「脱炭素社会」の実現を目指しています。脱炭素社会の暮らしのイメージについて、あなたの考えに近いものを1つ選んでください

1つ選んで○をつけてください	
1. 今よりも不便で我慢を強いられる暮らし	2. 今よりも不便だけど快適な暮らし
3. 今と同等の便利さを維持した暮らし	4. わからない
5. その他()	

問6. 脱炭素社会の実現に向け、一人ひとりが二酸化炭素の排出を減らす取組について、あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

1つ選んで○をつけてください	
1. 積極的に取り組みたい	2. できる範囲で取り組みたい
3. あまり取り組みたくない	4. まったく取り組みたくない

問7. あなたは、「COOL CHOICE(クールチョイス)」という言葉をご存知でしたか。1つ選んでください。

■クールチョイスとは、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量削減のために、脱炭素社会づくりに貢献する「製品への買換え」、「サービスの利用」、「ライフスタイルの選択」など、日々の生活の中で、あらゆる「賢い選択」をしていこうという取組のこと。



1つ選んで○をつけてください		
1. 知っていた	2. 名前を聞いたことはあるが、よく知らない	3. 聞いたことがない

問8. 地球温暖化対策に関して、日頃から取り組んでいることは何ですか。下表の項目ごとにあてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

右の選択肢から該当する番号を○で囲んでください	実施済	今後実施する予定	実施予定はない	自分には該当しない
1. クールビズ・ウォームビズを行っている	1	2	3	4
2. 冷暖房の温度設定を適切な温度(冷房28度、暖房20度)に調整している	1	2	3	4
3. シャワーや水道は流しっぱなしにしない	1	2	3	4
4. 移動の際には徒歩や自転車を利用し、自動車の使用を控えている	1	2	3	4
5. 車の運転は、急発進、急ブレーキをしないエコドライブ(運転)を心がけている	1	2	3	4
6. LED照明への買い替えをおこなっている	1	2	3	4
7. 家電製品の買い換えの際には、省エネ性能の高い家電を購入している	1	2	3	4

右の選択肢から該当する番号を○で囲んでください	実施済	今後実施する予定	実施予定はない	自分には該当しない
8. マイバッグやマイボトル(水筒)を持ち歩いている	1	2	3	4
9. ごみの減量化(ごみの分別、食品ロスなど)に取り組んでいる	1	2	3	4
10. 高断熱(複層ガラス窓、断熱材など)の省エネ住宅への新築やリフォームを行っている	1	2	3	4
11. 住宅等に太陽光パネルや蓄電池を設置している	1	2	3	4
12. ハイブリッド車や電気自動車など、環境にやさしいエコカーに買い換えている	1	2	3	4
13. その他 ()	1	2	3	4

問 9. 地球温暖化防止対策の行動に取り組みにくい(取り組みにくかった)理由は何ですか。1つ選んでください。

1つ選んで○をつけてください
1. 何をしたらいいかわからない
2. 我慢して生活するよりも、便利で快適に生活したいから
3. 取り組むためにお金がかかるから
4. 自分一人が頑張っても、社会全体では変わらないと思うから
5. 地球温暖化防止の行動が必要と思えないから
6. その他 ()

3. 再生可能エネルギー導入に関する取組について

問 10. 「再生可能エネルギー」の種類についてお尋ねします。下表の項目ごとにあてはまる番号を 1 つ選んで○で囲んでください。



太陽光発電と風力発電



小水力発電



ごみ発電・排熱利用

再生可能エネルギーの種類	発電のしくみなど	知っている	名前を聞いたことはあるが、よく知らない	聞いたことがない
太陽光発電	太陽の光を太陽電池により直接変換する発電方法	1	2	3
太陽熱利用	太陽の熱を利用して、給湯など熱として利用する方法	1	2	3
バイオマス発電 バイオマス熱利用	動植物などから生まれた生物資源を燃焼・ガス化して発電したり、熱として利用する方法	1	2	3
風力発電	風エネルギーを電気エネルギーに変える発電方法	1	2	3
中小水力発電	河川の流水や農業用水や上下水道を利用し、流量と落差を利用して電気エネルギーに変える発電	1	2	3
ごみ発電 排熱利用	ごみ焼却する際に熱を回収して蒸気をつくる発電方法	1	2	3
水素発電	水素を燃料とし、二酸化炭素は全く排出せず、水と熱・電気エネルギーに変える発電方法	1	2	3

問 11. あなたのご自宅への再生可能エネルギー関連設備の導入状況と2030(令和12)年までに導入する意向(導入したい)について、次の中から該当するものを選んで○をつけてください。該当しない部分は空欄にしてください。

該当する設備に○をつけてください	導入している	導入したい
1. 太陽光発電システム(太陽光パネル)		
2. 住宅用蓄電池		
3. 太陽熱温水器		
4. 高効率給湯器(エコキュート・エコジョーズ)		
5. ハイブリッド車(HV)、電気自動車(EV)		
6. ペレットストーブ、薪ストーブ		

問 12. 高砂市が力を入れて導入すべき再生可能エネルギーは何ですか。次の中から該当するものを2つまで選んで○をつけてください。

再生可能エネルギーの種類	発電のしくみなど	2つまで ○印
太陽光発電	太陽の光を太陽電池により直接変換する発電方法	
太陽熱利用	太陽の熱を利用して、給湯など熱として利用する方法	
風力発電	風エネルギーを風車で電気エネルギーに変える発電方法	
中小水力発電	河川や農業用水や上下水道を利用し、流量と落差を利用して電気エネルギーに変える発電方法	
水素発電	水素を燃料とし、二酸化炭素は全く排出せず、水と熱・電気エネルギーに変える発電方法	

問 13. 高砂市では、家庭用蓄電池システム単独と、太陽光発電システムと家庭用蓄電池システムの併設に対して補助制度があります。

【参考】詳細は高砂市のホームページでご確認することができます。

高砂市 HP(ホームページ)「担当課から探す」→「環境政策課」→「ごみ・環境」→「助成・講座」→「融資・助成制度」→「令和4年度家庭用蓄電池システム等設置補助金制度」
あなたは、このことについて知っていましたか。あてはまる番号を1つ選んでください。

1つ選んで○をつけてください	
1. 知っている(聞いたことがある)	2. 知らなかった(聞いたことがない)

問 14. あなたは、問13の補助制度について、活用したいと思いましたが、1つ選んでください。

1つ選んで○をつけてください			
1. 既に活用した	2. 活用したい	3. 活用しない	4. 興味がない

問15. あなたは、地球温暖化対策として、問14に記載している設備以外にどんな設備の補助制度を創設してほしいですか。1つ選んでください。

該当する設備に1つだけ○をつけてください	
1. 高効率給湯器(エコキュート・エコジョーズ)	2. 太陽熱温水器
3. 電気自動車(EV)	4. LED照明
5. エアコン (省エネトップランナー制度対象製品)	6. 高効率冷蔵庫 (省エネトップランナー制度対象製品)

■省エネトップランナー制度対象製品とは

自動車や家電製品等32品目のエネルギー消費効率を星印で見える化した「統一省エネラベル」の中央にある、緑色や黄色の「e」のマークが「省エネ性マーク」です。この「e」のマークが緑色の製品が省エネトップランナーになります。

省エネ統一ラベル

省エネ性マーク



グリーンマークは、国の目標値を達成している製品



オレンジのマークは、まだ目標値を達成していない製品

省エネ性能

★★★★☆ 4.2



省エネ基準達成率
112%

年間消費電力量
249 kWh/年

メーカー名 | 機種名

この製品を1年間使用した場合の目安電気料金

6,720 円

目安電気料金とは、電力会社により異なります。使用期間中の誤差負荷に配慮し、省エネ性能の高い製品を選びましょう。 RFR-R0211

多段階評価点

市場における製品の省エネ性能の高い順に5.0～1.0までの41段階で表示(多段階評価点)。☆(星マーク)は多段階評価点に応じて表示しています。

※エアコンについては、省エネ性能の高い順に5つ星から1つ星で表示しています。

省エネルギーラベル

年間目安エネルギー料金

当該製品を1年間使用した場合の経済性を、年間目安エネルギー料金で表示。

※年間目安エネルギー料金とは、年間の目安電気料金、目安ガス料金又は目安灯油料金を指します。

問16. あなたは、太陽光発電、太陽熱利用、バイオマスエネルギーなど再生可能エネルギーの導入が広く進められるために、どんなことが必要だと思いますか。1つ選んでください。

該当する設備に1つだけ○をつけてください	
1. 国、県、市の再生可能エネルギー等導入に関する助成	
2. 再生可能エネルギーの導入に関する関連情報の提供・発信	
3. 環境教育の場の創出(再生可能エネルギーを活用した体験学習など)	
4. わからない	
5. その他()	

ご自宅の電気契約について

2016(平成 28)年4月から始まった電力の小売全面自由化によって、ご自宅で使用する電気の供給事業者(電力会社)や料金メニューを自由に選べるようになりました。

問 17. これまで電気の契約先(電力会社)を切り替えたことがありますか。1つ選んでください。

1つ選んで○をつけてください		
1. ある	2. 検討したことはあるが、切り替えたことはない	3. ない

問 18. 切り替えた理由もしくは切り替えなかった(切り替えたことがない)理由について、あてはまる番号を1つ選んでください。

1つ選んで○をつけてください
1. 電気料金が安くなるため
2. 再生可能エネルギー由来の電力を使用できるため(脱炭素社会の実現に貢献できるため)
3. 手続きが面倒なため
4. 切り替えるメリットが感じられなかったため
5. 切り替えができることを知らなかったため
6. その他()

4. 最後にご意見やご要望、ご提案をお聞かせください

問 19. 再生可能エネルギーについてのご意見やご要望、ご提案がありましたらご記入ください。

アンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。

アンケート調査票を同封の返信用封筒に入れていただき、7月31日(日)までに、切手を貼らずにポストに投函ください。

② 事業者アンケート調査票

地球温暖化防止に関するアンケート調査票

1. 貴事業所について

問1. 貴社の業種について、あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

1つ選んで○をつけてください		
1. 建設・工事・工業・製造業	2. 運輸・通信・電気・ガス業	3. 農林水産業
4. 卸売・小売業	5. 金融・保健・不動産業	6. サービス業
7. その他()		

問2. 高砂市内の貴事業所にお勤めの従業員数(パートなども含む)を記入してください。

高砂市内の貴事業所にお勤めの従業員数(パートなども含む)
人

2. 地球温暖化問題への「意識」について

■地球温暖化による気候変動は、もはや「気候危機」というべき状況となっている中、2020(令和2)年10月菅総理大臣が「2050年カーボンニュートラル(温室効果ガスの排出と吸収で相殺してゼロを意味する概念)」を目指すことを表明し、省エネ取組を徹底し、再生可能エネルギーを最大限導入することとしています。

問3. 貴社はカーボンニュートラルという言葉をご存知でしたか。1つ選んでください。

■カーボンニュートラルとは、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量をできるだけ削減した上で、削減しきれなかった分を植林・森林管理などにより二酸化炭素を吸収することで差し引きトータルでゼロにすること。

1つ選んで○をつけてください		
1. 知っていた	2. 名前を聞いたことはあるが、よく知らない	3. 聞いたことがない

問4. 貴社は、2021(令和3)年7月に高砂市長が「2050年高砂市ゼロカーボンシティ宣言」を表明したことをご存知でしたか。1つ選んでください。

1つ選んで○をつけてください	
1. 知っていた	2. 今回初めて知った

問5. 貴社は「COOL CHOICE(クールチョイス)」という言葉をご存知でしたか。1つ選んでください。

■クールチョイスとは、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量削減のために、脱炭素社会づくりに貢献する「製品への買換え」、「サービスの利用」、「ライフスタイルの選択」など、日々の生活の中で、あらゆる「賢い選択」をしようという取組のこと。



1つ選んで○をつけてください		
1. 知っていた	2. 名前を聞いたことはあるが、よく知らない	3. 聞いたことがない

問 6. 地球温暖化防止のため実施する企業活動について、貴社の考えに最も近いものを1つ選んでください。

1つ選んで○をつけてください	
1. より一層省エネの取組を強化し、再生可能エネルギーの導入に努めたい	
2. 省エネの取組は今後も強化していくが、再生可能エネルギーの導入はコストがかかるため難しい	
3. 今まで通りの企業活動を継続していきたい	
4. これ以上省エネの余地はない	
5. その他()	

問 7. 貴社における現在の地球温暖化防止対策への実施状況と実施意向について、下表の項目ごとにあてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

右の選択肢から該当する番号を○で囲んでください	実施済	今後実施する予定	実施予定はない	自分には該当しない
1. クールビズ・ウォームビズの実施、エアコンの温度調節、昼休みの消灯など、できることから社員による対策を行う	1	2	3	4
2. 省エネ設備・省エネ照明(LED照明)、節水器具などへの買い換えを行う	1	2	3	4
3. ビル・エネルギー管理システム(BEMS)を導入する ※エネルギーの見える化	1	2	3	4
4. 太陽光発電などの再生可能エネルギー設備を導入する	1	2	3	4
5. コージェネレーションシステム、ヒートポンプ、高効率給湯機を導入する	1	2	3	4
6. 省エネ型空調設備を導入する	1	2	3	4
7. 事業所において緑化活動を行う	1	2	3	4
8. 社用車の運用(運転・管理)において、環境に配慮した活動を行う	1	2	3	4
9. ハイブリッド車や電気自動車など環境に配慮した車を社用車として購入する	1	2	3	4
10. 今まで行っていなかったが、今後取り組んでいきたい	1	2	3	4
11. その他()	1	2	3	4

問 8. 貴社が温暖化対策に取り組むうえで障害になっている点はありませんか。最もあてはまる項目を1つ選んでください。

最もあてはまる番号を1つ選んで○をつけてください	
1. 温暖化対策のための初期投資が手配できない	
2. 設備が老朽化していて省エネルギー投資が無駄になる可能性がある	
3. 省エネルギーのための投資効果が明確でない	
4. 省エネルギーのために投資しても回収できない	
5. 省エネルギー機器を設置するスペースがない	
6. 省エネルギーに関する情報や技術がない	
7. その他()	

3. 再生可能エネルギーについて

問 9. あなたは、次の「再生可能エネルギー」について、どの程度知っていますか。下表の項目ごとにあてはまる番号を1つだけ選び、○をつけてください。



太陽光発電と風力発電



小水力発電



ごみ発電・排熱利用

再生可能エネルギー	よく知っている	少しは知っている	あまり知らない	全く知らない
太陽光発電	1	2	3	4
太陽熱利用	1	2	3	4
バイオマスエネルギー	1	2	3	4
風力発電	1	2	3	4
中小水力発電	1	2	3	4
ごみ発電 ごみ焼却排熱利用	1	2	3	4
水素発電	1	2	3	4

問 10. 太陽光発電などは「再生可能エネルギー」と呼ばれており最近普及しています。再生可能エネルギーの導入についてどのようにお考えですか。下表の項目ごとにあてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

右の選択肢から該当する番号を○で囲んでください	実施済	今後導入したい	費用などの条件によっては導入したい	導入するつもりはない	事業形態などの理由で導入不可能	わからない(はじめて聞く言葉)
1. 太陽光発電	1	2	3	4	5	6
2. 太陽熱利用(太陽熱温水器)	1	2	3	4	5	6
3. 風力発電	1	2	3	4	5	6
4. 中小水力発電(農業用水、工場内水など)	1	2	3	4	5	6
5. バイオマスエネルギー(廃棄物、剪定枝など)	1	2	3	4	5	6
6. 水素発電	1	2	3	4	5	6
7. その他()	1	2	3	4	5	6

問 11. 貴社において、上記のような再生可能エネルギーの導入が広く進められるために、どんなことが必要ですか。1つ選んでください。

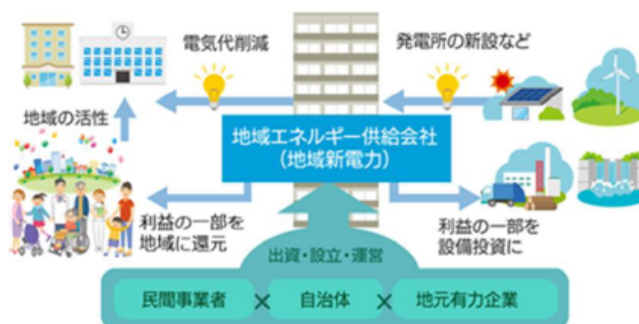
1つ選んで○をつけてください
1. 再生可能エネルギー機器の設置に対する助成
2. 再生可能エネルギー機器への優遇税制
3. 情報提供、技術指導などの窓口の設置
4. わからない
5. その他()

問 12. 高砂市において導入を進めることが、特に重要と考える再生可能エネルギーは何ですか。(複数回答可)

あてはまるものを選んで○をつけてください(複数回答可)		
1. 太陽光発電	2. 太陽熱利用	3. 風力発電
4. 中小水力発電	5. バイオマスエネルギー	6. 水素発電
7. わからない	8. その他()	

4. 地域のみなさまが連携した太陽光発電導入方法（仕組み）について

■地域新電力とは、地域内の太陽光発電設備などの発電電力を主に地域内の公共施設や民間企業等に供給する小売電気事業のことで、エネルギーの地産地消や地方創生、脱炭素化（CO2 排出量の削減）などの効果も期待できます（自治体が出資するものを「自治体新電力」といいます）。



問 13～15 は、地域活性化の手法として全国的に事例があることから、今回、地域の方々の意識調査を行い、その可能性を検証するために実施するものです。
上記事業は地域の皆さまが自主的に参加する制度で、強制的に出資を求めるものではありません。

問 13. このような地域で連携して、太陽光発電設備を導入する方法（仕組み）について、ご関心・興味がありますか。1つ選んでください。

1つ選んで○をつけてください			
1. 非常に関心がある	2. 少しは関心がある	3. あまり関心がない	4. 全く関心がない

問 14. 太陽光発電設備の導入方法（仕組み）への参加（出資）について、お伺いします。あてまはる番号 1つ選んでください。

1つ選んで○をつけてください
1. 利益が出る可能性があれば参加しても良い
2. 利益がなくても出資額（元本）が回収できるならば、参加しても良い
3. 社会貢献（寄付）との位置づけであれば参加しても良い
4. 興味が無いので、参加したくない
5. わからない
6. その他（ ）

問 15. 問 14 で 1～3 に ○ を付けた方にお聞きします。「共同出資」の取組を高砂市で実施するとしたら、どの程度の金額なら出資しても良いと思いますか。1つ選んでください。

1つ選んで○をつけてください			
① 1万円以内	② 1～5万円	③ 5～10万円	④ 10万円以上

5. 太陽光発電設備等と省エネの混合した取組について

問 16. 近頃、ビルや工場等において省エネルギー化の推進が強く求められている中で「ZEB(ゼブ) (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)」を導入する動きが広がっています。

■「ZEB」とは、建物の高断熱化と高効率設備によりできる限りの省エネルギー化に努めたうえで、太陽光発電等によりエネルギーを創ることで、年間に消費する住宅のエネルギー量が正味でゼロ以下となる建物のことです。

あなたは、「ZEB」を知っていましたか。1つ選んでください。

1つ選んで○をつけてください		
1. 知っている	2. 名前を聞いたことはある	3. 知らなかった

問 17. あなたは、ZEB の導入に対してどのようにお考えですか。1つ選んでください。

1つ選んで○をつけてください	
1. すでに導入している	2. 導入する予定(または検討中)である
3. 財政的な支援があれば導入したい	4. 導入する予定はない
5. 賃貸のため、導入できる環境にない	
6. その他()	

6. 最後にご意見やご要望、ご提案をお聞かせください

問 18. 再生可能エネルギーについてのご意見やご要望、ご提案がありましたらご記入ください。

アンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。

アンケート調査票を同封の返信用封筒に入れていただき、7月31日(日)までに、切手を貼らずにポストに投函ください。

(2) アンケート調査結果

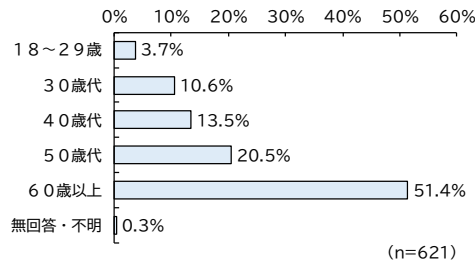
① 市民アンケート調査結果

1. あなたご自身のことについて

問1. 以下の項目それぞれについて、あてはまる番号を1つずつ選び、○を付けてください。

◆世帯主の年齢

選択肢	回答数 (人)	割合 (%)
18～29歳	23	3.7%
30歳代	66	10.6%
40歳代	84	13.5%
50歳代	127	20.5%
60歳以上	319	51.4%
無回答・不明	2	0.3%
合計	621	100.0%

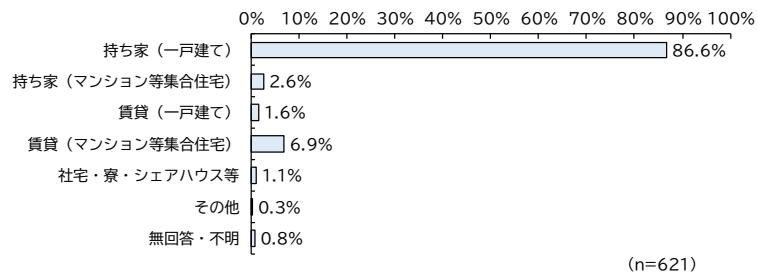


回答者の年齢層は、「60歳以上」の割合が51.4%で最も多くなり、過半数を占めています。

若い世代になるにつれて回答者の割合は低くなっており、40歳未満の割合は全体の14.3%でした。

◆居住形態

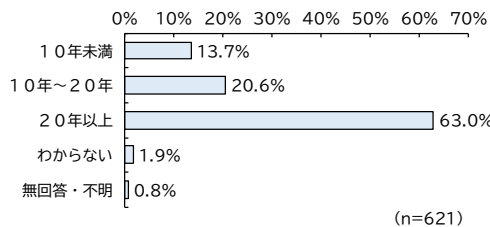
選択肢	回答数 (人)	割合 (%)
持ち家(一戸建て)	538	86.6%
持ち家(マンション等集合住宅)	16	2.6%
賃貸(一戸建て)	10	1.6%
賃貸(マンション等集合住宅)	43	6.9%
社宅・寮・シェアハウス等	7	1.1%
その他	2	0.3%
無回答・不明	5	0.8%
合計	621	100.0%



居住形態は、持ち家(一戸建て)が最も多く、86.6%を占めています。マンション等集合住宅も含めて、持ち家の割合は全体の約9割となっています。

◆住居の築年数

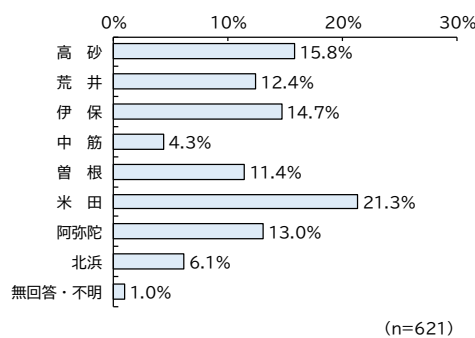
選択肢	回答数 (人)	割合 (%)
10年未満	85	13.7%
10年～20年	128	20.6%
20年以上	391	63.0%
わからない	12	1.9%
無回答・不明	5	0.8%
合計	621	100.0%



住居の築年数は、「20年以上」と答えた回答者が63.0%で最も多くなりました。

◆居住地域

地域	回答数 (人)	割合 (%)
高砂	98	15.8%
荒井	77	12.4%
伊保	91	14.7%
中筋	27	4.3%
曾根	71	11.4%
米田	132	21.3%
阿弥陀	81	13.0%
北浜	38	6.1%
無回答・不明	6	1.0%
合計	621	100.0%



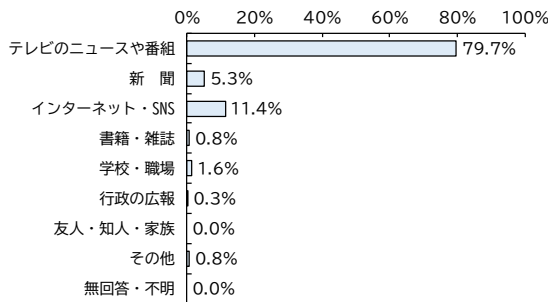
「米田」地域に住む方の割合が最も多く、21.3%となっています。

次いで「高砂」地域(15.8%)、「伊保」地域(14.7%)が多くなっています。

2. 地球温暖化に関する取り組みについて

問2. 地球温暖化に関する情報を主にどこで知りますか。

情報源	回答数 (人)	割合 (%)
テレビのニュースや番組	495	79.7%
新聞	33	5.3%
インターネット・SNS	71	11.4%
書籍・雑誌	5	0.8%
学校・職場	10	1.6%
行政の広報	2	0.3%
友人・知人・家族	0	0.0%
その他	5	0.8%
無回答・不明	0	0.0%
合計	621	100.0%

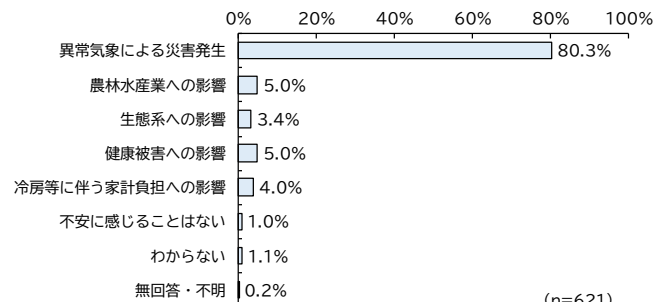


回答者が地球温暖化に関する情報を知る手段として、「テレビのニュースや番組」が79.7%で他を圧倒して最も多くなっています。次いで「インターネット・SNS」が11.4%となっています。

(n=621)

問3. 地球温暖化の影響について最も不安に感じることは何ですか。

不安に感じる影響	回答数 (人)	割合 (%)
異常気象による災害発生	499	80.3%
農林水産業への影響	31	5.0%
生態系への影響	21	3.4%
健康被害への影響	31	5.0%
冷房等に伴う家計負担への影響	25	4.0%
不安に感じることはない	6	1.0%
わからない	7	1.1%
無回答・不明	1	0.2%
合計	621	100.0%

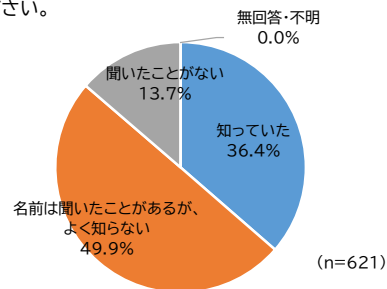


(n=621)

地球温暖化の影響として不安に感じることは、「異常気象による災害発生」が80.3%で他を圧倒して最も多く、近年各地で増えている大雨による水害などに脅威を感じている市民が多いことがうかがえます。

問4. あなたは、「カーボンニュートラル」という言葉をご存知でしたか。1つ選んでください。

「カーボンニュートラル」	回答数 (人)	割合 (%)
知っていた	226	36.4%
名前は聞いたことがあるが、よく知らない	310	49.9%
聞いたことがない	85	13.7%
無回答・不明	0	0.0%
合計	621	100.0%



(n=621)

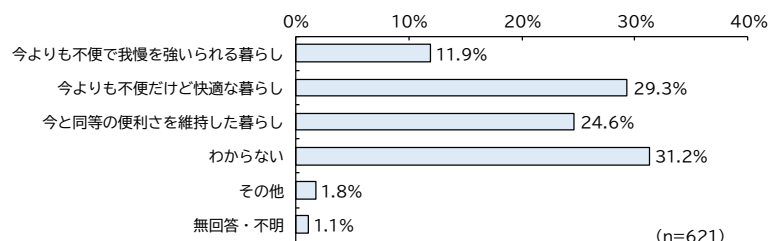
「カーボンニュートラル」という言葉を知っていた方は、36.4%でした。

「名前は聞いたことがあるが、よく知らない」と答えた方が最も多く、49.9%で約半数を占めています。

問5. 高砂市では、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロにする「脱炭素社会」の実現を目指しています。

脱炭素社会の暮らしのイメージについて、あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

「脱炭素社会」の暮らしのイメージ	回答数 (人)	割合 (%)
今よりも不便で我慢を強いられる暮らし	74	11.9%
今よりも不便だけど快適な暮らし	182	29.3%
今と同等の便利さを維持した暮らし	153	24.6%
わからない	194	31.2%
その他	11	1.8%
無回答・不明	7	1.1%
合計	621	100.0%



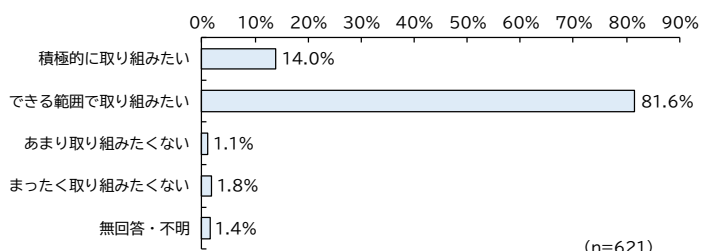
(n=621)

回答者が持つ「脱炭素社会」の暮らしとしては、「わからない」をイメージする方が31.2%で最も多く、具体的なイメージを持っていないことが伺えます。

次いで、「今よりも不便だけど快適な暮らし」が29.3%、「今と同等の便利さを維持した暮らし」が24.6%となっています。

問6. 脱炭素社会の実現に向け、一人ひとりが二酸化炭素の排出を減らす取り組みについて、あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

CO ₂ 削減に対する考え	回答数 (人)	割合 (%)
積極的に取り組みたい	87	14.0%
できる範囲で取り組みたい	507	81.6%
あまり取り組みたくない	7	1.1%
まったく取り組みたくない	11	1.8%
無回答・不明	9	1.4%
合計	621	100.0%

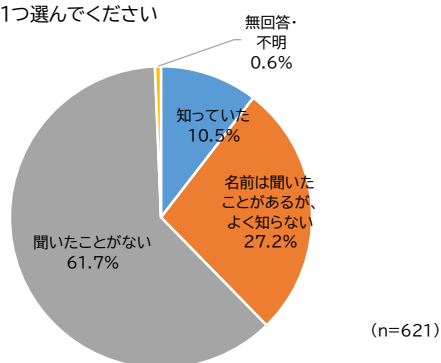


脱炭素社会の実現に向けて二酸化炭素の排出を減らす取り組みに関しては、「できる範囲で取り組みたい」とする回答者が81.6%で他を圧倒して最も多く、次に多かったのは「積極的に取り組みたい」(14.0%)で、「取り組みたい」と考えている方約96%になります。

一方で、「あまり取り組みたくない」、「まったく取り組みたくない」と回答した方はあわせて全体の約3%に過ぎず、取り組みに対する市民の意向は概ね肯定的であると考えられます。

問7. あなたは、「COOL CHOICE(クールチョイス)」という言葉をご存知でしたか。1つ選んでください

「クールチョイス」	回答数 (人)	割合 (%)
知っていた	65	10.5%
名前は聞いたことがあるが、よく知らない	169	27.2%
聞いたことがない	383	61.7%
無回答・不明	4	0.6%
合計	621	100.0%

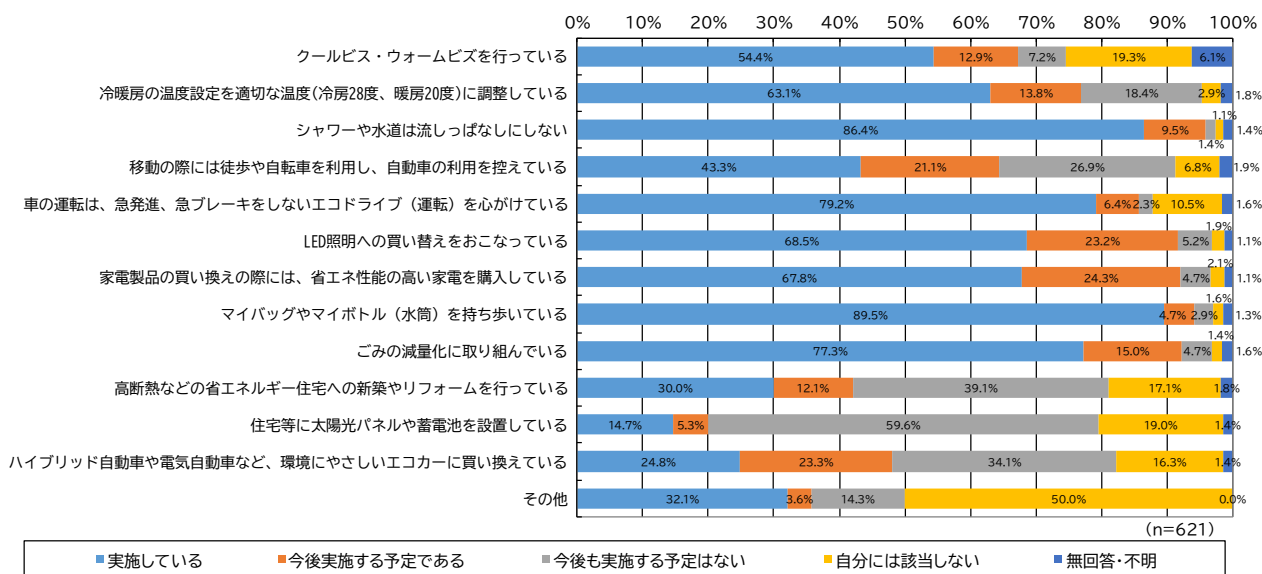


「クールチョイス」という言葉を知っていた方は、10.5%でした。

「聞いたことがない」と答えた方が最も多く、61.7%であり、「クールチョイス」の認知度は低いと考えられます。

問8. 地球温暖化対策に関して、日頃から取り組んでいることは何ですか。下表の項目ごとにあてはまる番号を記入してください。

行動内容	上段:回答数(人) 下段:割合(%)					回答計
	実施している	今後実施する予定である	今後実施する予定はない	自分には該当しない	無回答・不明	
クールビス・ウォームビスを行っている	338 (54.4)	80 (12.9)	45 (7.2)	120 (19.3)	38 (6.1)	621
冷暖房の温度設定を適切な温度(冷房28度、暖房20度)に調整している	392 (63.1)	86 (13.8)	114 (18.4)	18 (2.9)	11 (1.8)	621
シャワーや水道は流しっぱなしにしない	537 (86.4)	59 (9.5)	9 (1.4)	7 (1.1)	9 (1.4)	621
移動の際には徒歩や自転車を利用し、自動車の利用を控えている	269 (43.3)	131 (21.1)	167 (26.9)	42 (6.8)	12 (1.9)	621
車の運転は、急発進、急ブレーキをしないエコドライブ(運転)を心がけている	492 (79.2)	40 (6.4)	14 (2.3)	65 (10.5)	10 (1.6)	621
LED照明への買い替えをおこなっている	426 (68.5)	144 (23.2)	32 (5.2)	12 (1.9)	7 (1.1)	621
家電製品の買い換えの際には、省エネ性能の高い家電を購入している	421 (67.8)	151 (24.3)	29 (4.7)	13 (2.1)	7 (1.1)	621
マイバッグやマイボトル(水筒)を持ち歩いている	556 (89.5)	29 (4.7)	18 (2.9)	10 (1.6)	8 (1.3)	621
ごみの減量化に取り組んでいる	480 (77.3)	93 (15.0)	29 (4.7)	9 (1.4)	10 (1.6)	621
高断熱などの省エネルギー住宅への新築やリフォームを行っている	186 (30.0)	75 (12.1)	243 (39.1)	106 (17.1)	11 (1.8)	621
住宅等に太陽光パネルや蓄電池を設置している	91 (14.7)	33 (5.3)	370 (59.6)	118 (19.0)	9 (1.4)	621
ハイブリッド自動車や電気自動車など、環境にやさしいエコカーに買い換えている	154 (24.8)	145 (23.3)	212 (34.1)	101 (16.3)	9 (1.4)	621
その他	18 (3.2)	2 (0.3)	8 (1.3)	28 (4.5)	0 (0.0)	56



地球温暖化対策として日頃から取り組んでいる行動(12項目)で、実施率が80%を超えたものは、「マイバッグやマイボトル(水筒)を持ち歩いている」(89.5%)、「シャワーや水道は流しっぱなしにしない」(86.4%)の2項目でした。

その一方で、実施率が50%を下回った行動が4項目あり、中でも「住宅等に太陽光パネルや蓄電池を設置している」(14.7%)、「ハイブリッド自動車や電気自動車など、環境に優しいエコカーに買い換えている」(24.8%)は実施率が特に低くなっています。

また、「高断熱などの省エネルギー住宅への新築やリフォームを行っている」、「住宅等に太陽光パネルや蓄電池を設置している」、「ハイブリッド自動車や電気自動車など、環境にやさしいエコカーに買い換えている」の3項目は、今後も実施する予定がなかったり、自分には該当しないと考えている方が50%を超えています。

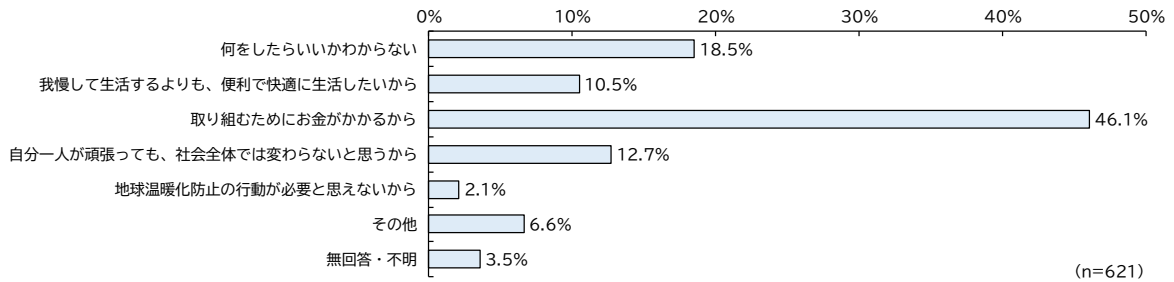
問9. 地球温暖化対策の行動に取り組みにくい(取り組みにくかった)理由は何ですか。

行動に取り組みにくい理由	回答数 (人)	割合 (%)
何をしたらいいかわからない	115	18.5%
我慢して生活するよりも、便利で快適に生活したいから	65	10.5%
取り組むためにお金がかかるから	286	46.1%
自分一人が頑張っても、社会全体では変わらないと思うから	79	12.7%
地球温暖化防止の行動が必要と思えないから	13	2.1%
その他	41	6.6%
無回答・不明	22	3.5%
合計	621	100.0%

地球温暖化対策の行動に取り組みにくい理由としては、「取り組むためにお金がかかるから」との回答が46.1%で最も多くなっています。

また、「何をしたらいいかわからない」との回答が18.5%あり、概ね5人に1人は取り組み方がわからないようです。

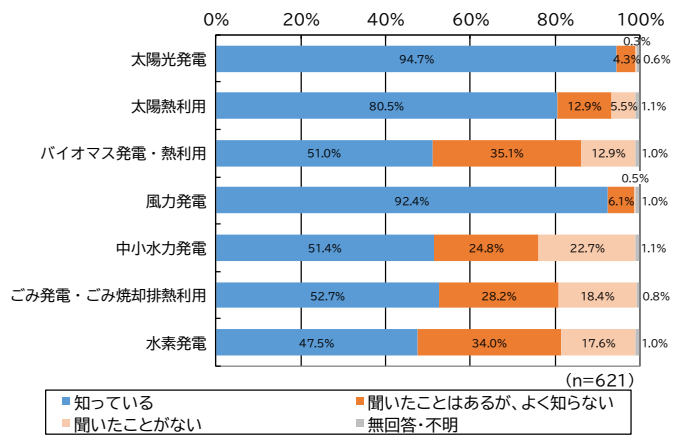
「その他」では、今の自分にできることをやっている旨の回答が多く見られました。



3. 再生可能エネルギー導入に関する取り組みについて

問10. 「再生可能エネルギー」の種類について、選択肢の中からあてはまる番号を選んでください。

再生可能エネルギーの種類	上段:回答数(人) 下段:割合(%)				回答計
	知っている	が聞、いたことよく知らないうる	聞いたことがない	無回答・不明	
太陽光発電	588 (94.7)	27 (4.3)	2 (0.3)	4 (0.6)	621
太陽熱利用	500 (80.5)	80 (12.9)	34 (5.5)	7 (1.1)	621
バイオマス発電・熱利用	317 (51.0)	218 (35.1)	80 (12.9)	6 (1.0)	621
風力発電	574 (92.4)	38 (6.1)	3 (0.5)	6 (1.0)	621
中小水力発電	319 (51.4)	154 (24.8)	141 (22.7)	7 (1.1)	621
ごみ発電・ごみ焼却排熱利用	327 (52.7)	175 (28.2)	114 (18.4)	5 (0.8)	621
水素発電	295 (47.5)	211 (34.0)	109 (17.6)	6 (1.0)	621



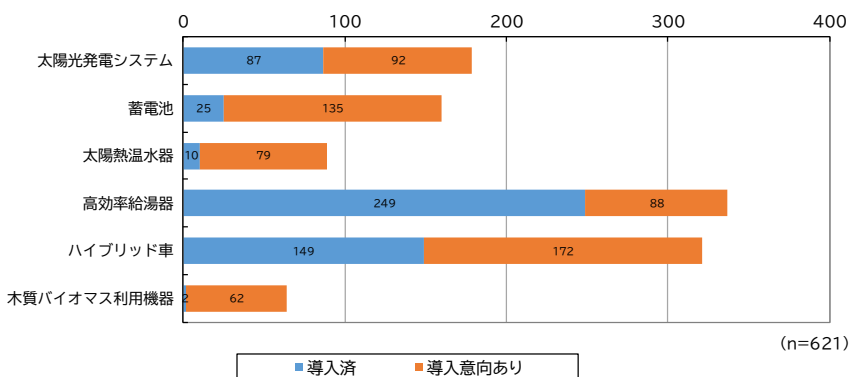
「太陽光発電」、「風力発電」は、ともに9割以上、「太陽熱利用」は8割以上の回答者が「知っている」と答えており、認知度の高さがうかがえます。

また、「バイオマス発電・熱利用」、「水素発電」は、「聞いたことはあるが、よく知らない」とする回答者が約35%と、日頃話題には上がっても内容までは深く認知されていないようです。

一方で、「中小水力発電」については、概ね5人に1人(22.7%)が「聞いたことがない」と答えています。

問11. ご自宅への再生可能エネルギー関連設備の導入状況と、2030年までの導入意向についてお答えください。

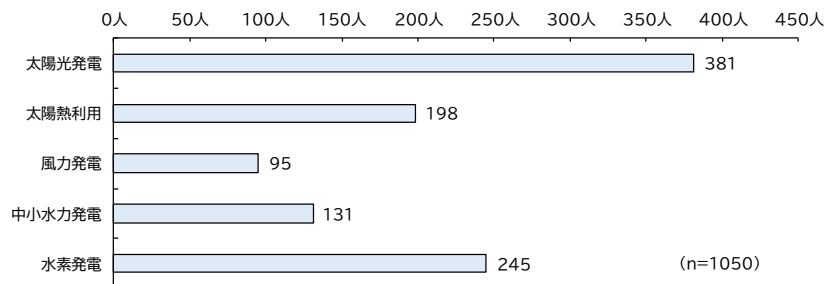
再エネ関連設備	上段:回答数(人) 下段:割合(%)		回答計
	導入済	導入意向あり	
太陽光発電システム	87 (14.0)	92 (14.8)	179 (28.8)
蓄電池	25 (4.0)	135 (21.7)	160 (25.8)
太陽熱温水器	10 (1.6)	79 (12.7)	89 (14.3)
高効率給湯器	249 (40.1)	88 (14.2)	337 (54.3)
ハイブリッド車	149 (24.0)	172 (27.7)	321 (51.7)
木質バイオマス利用機器	2 (0.3)	62 (10.0)	64 (10.3)



「高効率給湯器」の導入数が他に比べて高く、今後の導入意向を加味すると多くの世帯への導入が期待されます。
 「太陽熱温水器」と「木質バイオマス利用機器」は導入数と導入意向ともに回答数が少なく、関心が低いと言えます。

問12. 高砂市が力を入れて導入すべき再生可能エネルギーは何ですか。次の中から該当するものを2つまで選んでください。

選択肢	回答数(人)	割合(%)
太陽光発電	381	36.3%
太陽熱利用	198	18.9%
風力発電	95	9.0%
中小水力発電	131	12.5%
水素発電	245	23.3%
合計	1050	100.0%

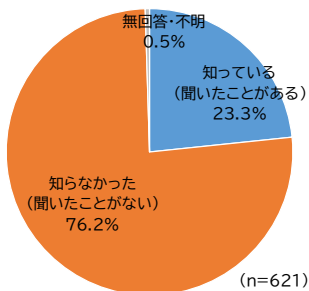


高砂市が力を入れて導入すべき再生可能エネルギーで最も多かったのは、「太陽光発電」(381人)でした。
 次いで「水素発電」(245人)、太陽熱利用(198人)となっています。

問13. 高砂市では、家庭用蓄電池システム単独と、太陽光発電システムと家庭用蓄電池システムの併設に対して補助制度があります。

あなたは、このことについて知っていましたか。

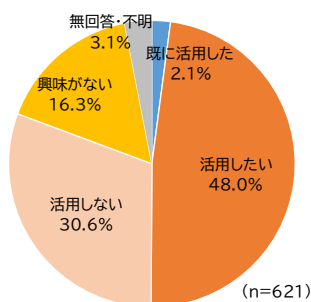
選択肢	回答数(人)	割合(%)
知っている(聞いたことがある)	145	23.3%
知らなかった(聞いたことがない)	473	76.2%
無回答・不明	3	0.5%
合計	621	100.0%



補助制度は、「知らなかった(聞いたことがない)」と回答した方が76.2%と認知度の低さがうかがえます。

問14. あなたは、問12の補助制度について、活用したいと思いませんか。

選択肢	回答数 (人)	割合 (%)
既に活用した	13	2.1%
活用したい	298	48.0%
活用しない	190	30.6%
興味がない	101	16.3%
無回答・不明	19	3.1%
合計	621	100.0%

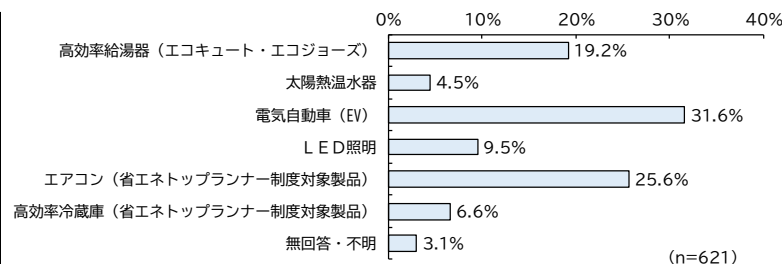


前問の補助制度を「既に活用した」と答えた方は、わずか2.1%でした。

「活用したい」と答えた方の割合は、48.0%で最も多くなっていますが、「活用しない」(30.6%)、「興味がない」(16.3%)を合わせた回答者の割合も同程度となっています。

問15. あなたは、地球温暖化対策として、問12に記載している設備以外にどんな設備の補助制度を創設してほしいですか。

補助制度を創設してほしい設備	回答数 (人)	割合 (%)
高効率給湯器(エコキュート・エコジョーズ)	119	19.2%
太陽熱温水器	28	4.5%
電気自動車(EV)	196	31.6%
LED照明	59	9.5%
エアコン(省エネトップランナー制度対象製品)	159	25.6%
高効率冷蔵庫(省エネトップランナー制度対象製品)	41	6.6%
無回答・不明	19	3.1%
合計	621	100.0%



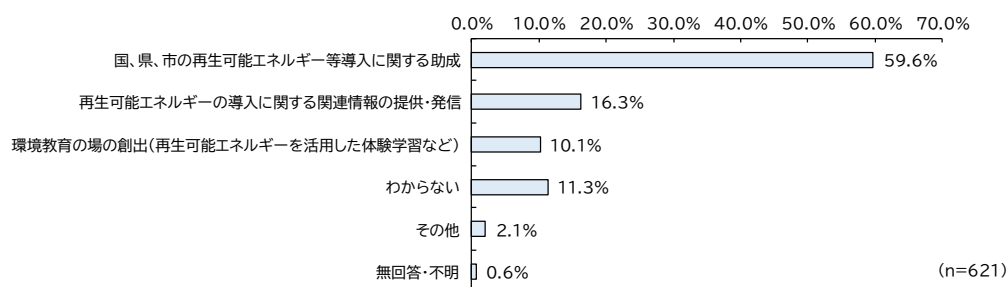
地球温暖化対策として、「電気自動車(EV)」(31.6%)に対する補助制度を望む回答者が最も多く、次いで「エアコン(省エネトップランナー制度対象製品)」(25.6%)、「高効率給湯器(エコキュート・エコジョーズ)」(19.2%)などへの補助制度を期待する回答が多くなっています。

一方で、「太陽熱温水器」の設置に対して、補助制度の創設を望む回答者の割合は低く、全体の4.5%に留まっています。

問16. あなたは、太陽光発電、太陽熱利用、バイオマスエネルギーなど再生可能エネルギー導入が広く進められるために、どんなことが必要だと思いますか。1つ選んでください。

どんなことが必要か	回答数 (人)	割合 (%)
国、県、市の再生可能エネルギー等導入に関する助成	370	59.6%
再生可能エネルギーの導入に関する関連情報の提供・発信	101	16.3%
環境教育の場の創出(再生可能エネルギーを活用した体験学習など)	63	10.1%
わからない	70	11.3%
その他	13	2.1%
無回答・不明	4	0.6%
計	621	100.0%

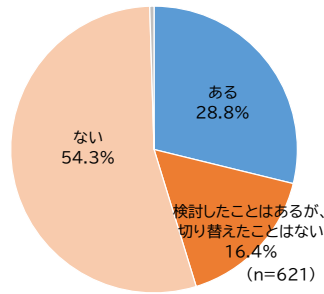
再生可能エネルギー導入が広く進められるために、必要なものでは、「国、県、市の再生可能エネルギー等導入に関する助成」が最も多く、59.6%となりました。



【ご自宅の電気の契約について】

問17. これまで電気の契約先を切り替えたことがありますか。

選択肢	回答数 (人)	割合 (%)
ある	179	28.8%
検討したことはあるが、 切り替えたことはない	102	16.4%
ない	337	54.3%
無回答・不明	3	0.5%
合計	621	100.0%



自宅の電気の契約先について、「切り替えたことはない」とする回答が全体の7割以上を占めていますが、その中で切り替えを検討したことがあるユーザは16.4%となっています。

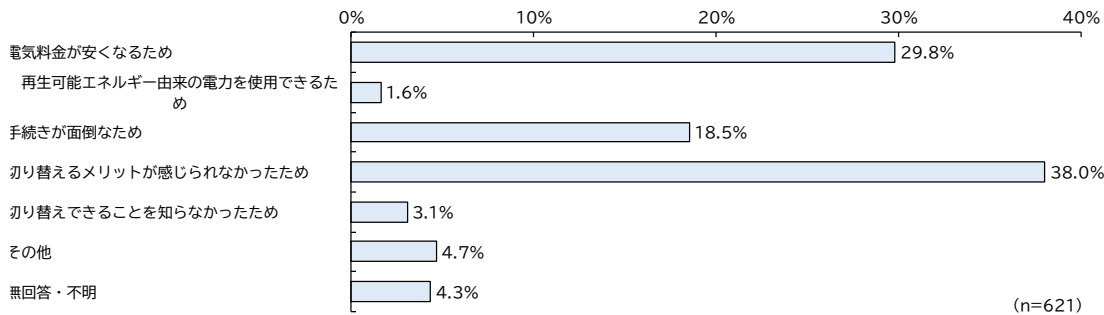
また、約3割の方は、実際に契約先を切り替えているようです。

問18. 切り替えた理由もしくは切り替えなかった(切り替えたことがない)理由について、あてはまる番号を1つ選んでください。

切り替えた(切り替えなかった)理由	回答数 (人)	割合 (%)
電気料金が安くなるため	185	29.8%
再生可能エネルギー由来の電力を使用できるため	10	1.6%
手続きが面倒なため	115	18.5%
切り替えるメリットが感じられなかったため	236	38.0%
切り替えできることを知らなかったため	19	3.1%
その他	29	4.7%
無回答・不明	27	4.3%
合計	621	100.0%

「電気料金が安くなるため」切り替えたと回答した方は29.8%で、前問の実際に契約先を切り替えた方のほとんどがこの理由で切り替えたと言えます。

一方で、電気の契約先を切り替えなかった理由として、多かったのは「切り替えるメリットが感じられなかったため」(38.0%)、「手続きが面倒なため」(18.5%)などで、市民の感覚では、切り替えに伴う煩わしさが享受できるメリットを上回っているようです。



4. 最後にご意見やご要望、ご提案をお聞かせください。

問19. 再生可能エネルギーについてのご意見やご要望、ご提案がありましたらご記入ください。

621名の回答者の中から、132件のご意見・ご要望等をいただきました。
いただいた内容は次の区分で分類し、次ページ以降に整理したとおりです。

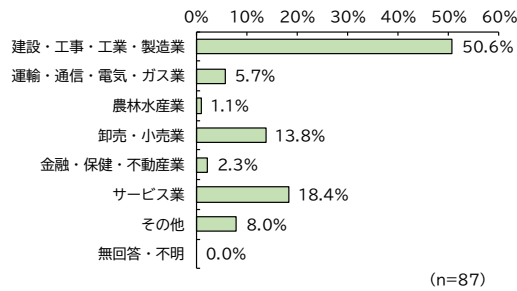
- 取り組みの方向性等に関するご意見【45件】
- 再生可能エネルギーの導入推進に懐疑的なご意見、もしくは進めていく上での条件に関するご意見【27件】
- 再生可能エネルギーの導入コスト・収支に関するご意見・ご不満等【27件】
- 再生可能エネルギーに係る情報提供に関するご意見・ご要望等【8件】
- 再生可能エネルギーの利用に関するご意見・ご要望等【8件】
- その他のご意見【17件】

② 事業者アンケート調査結果

1. あなたご自身のことについて

問1. 貴社の業種について、あてはまる番号を1つ選んでください。

業種	回答数 (人)	割合(%)
建設・工事・工業・製造業	44	50.6%
運輸・通信・電気・ガス業	5	5.7%
農林水産業	1	1.1%
卸売・小売業	12	13.8%
金融・保健・不動産業	2	2.3%
サービス業	16	18.4%
その他	7	8.0%
無回答・不明	0	0.0%
合計	87	100.0%

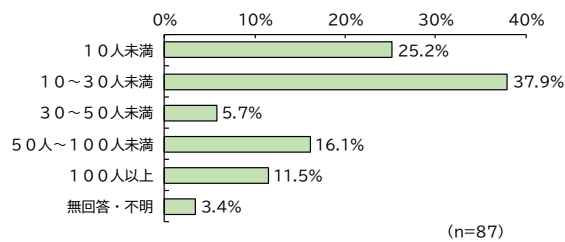


事業者の業種で最も多かったのは、「建設・工事・工業・製造業」で、50.6%でした。

「サービス業」が18.4%で、続いて多くなっています。

問2. 高砂市内の貴事業所にお勤めの従業員数(パートなども含む)を記入してください。

従業員数	回答数 (人)	割合(%)
10人未満	22	25.2%
10～30人未満	33	37.9%
30～50人未満	5	5.7%
50人～100人未満	14	16.1%
100人以上	10	11.5%
無回答・不明	3	3.4%
合計	87	100.0%

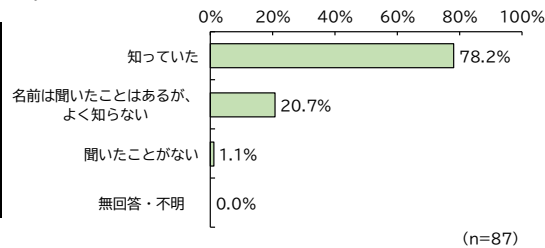


従業員数が「10人以上30人未満」の事業者が最も多く、従業員数が30人未満の事業所は全体の63.1%を占めています。

2. 地球温暖化問題への「意識」について

問3. 貴社はカーボンニュートラルという言葉をご存知でしたか。

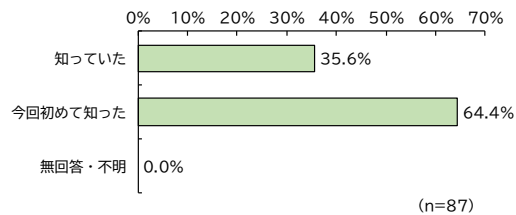
選択肢	回答数 (人)	割合(%)
知っていた	68	78.2%
名前は聞いたことはあるが、よく知らない	18	20.7%
聞いたことがない	1	1.1%
無回答・不明	0	0.0%
合計	87	100.0%



カーボンニュートラルという言葉を知っていた方は78.2%でした。

問4. 貴社は、2021(令和3)年7月に高砂市長が「2050年高砂市ゼロカーボンシティ宣言」を表明したことをご存知でしたか。1つ選んでください。

地域	回答数 (人)	割合(%)
知っていた	31	35.6%
今回初めて知った	56	64.4%
無回答・不明	0	0.0%
合計	87	100.0%

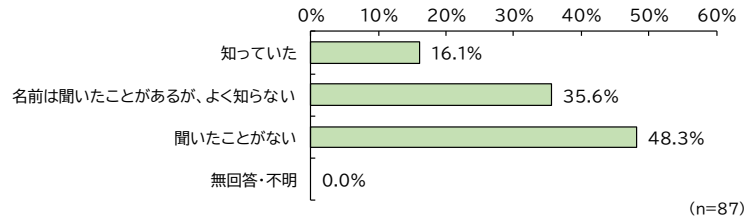


高砂市長の「2050年高砂市ゼロカーボンシティ宣言」の表明を知っていた方は35.6%で、今回初めて知った方は64.4%でした。

問5. あなたは、「COOL CHOICE(クールチョイス)」という言葉をご存知でしたか。1つ選んでください。

「クールチョイス」	回答数 (人)	割合(%)
知っていた	14	16.1%
名前は聞いたことがあるが、よく知らない	31	35.6%
聞いたことがない	42	48.3%
無回答・不明	0	0.0%
合計	87	100.0%

「クールチョイス」という言葉を知っていた方は、16.1%と少なく、「聞いたことがない」、「よく知らない」と答えた方は全体の8割以上であり、「クールチョイス」の認知度は低いと考えられます。

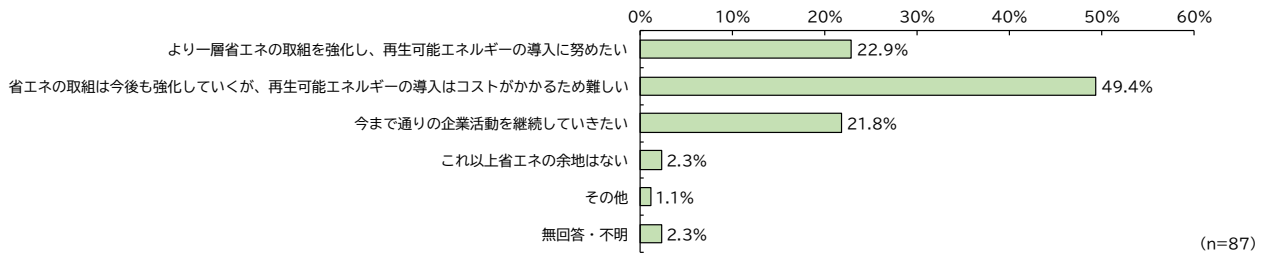


問6. 地球温暖化防止のため実施する企業活動について、貴社の考えに最も近いものを1つ選んでください。

地球温暖化防止のために実施する企業活動	回答数 (人)	割合(%)
より一層省エネの取組を強化し、再生可能エネルギーの導入に努めたい	20	22.9%
省エネの取組は今後も強化していくが、再生可能エネルギーの導入はコストがかかるため難しい	43	49.4%
今まで通りの企業活動を継続していきたい	19	21.8%
これ以上省エネの余地はない	2	2.3%
その他	1	1.1%
無回答・不明	2	2.3%
合計	87	100.0%

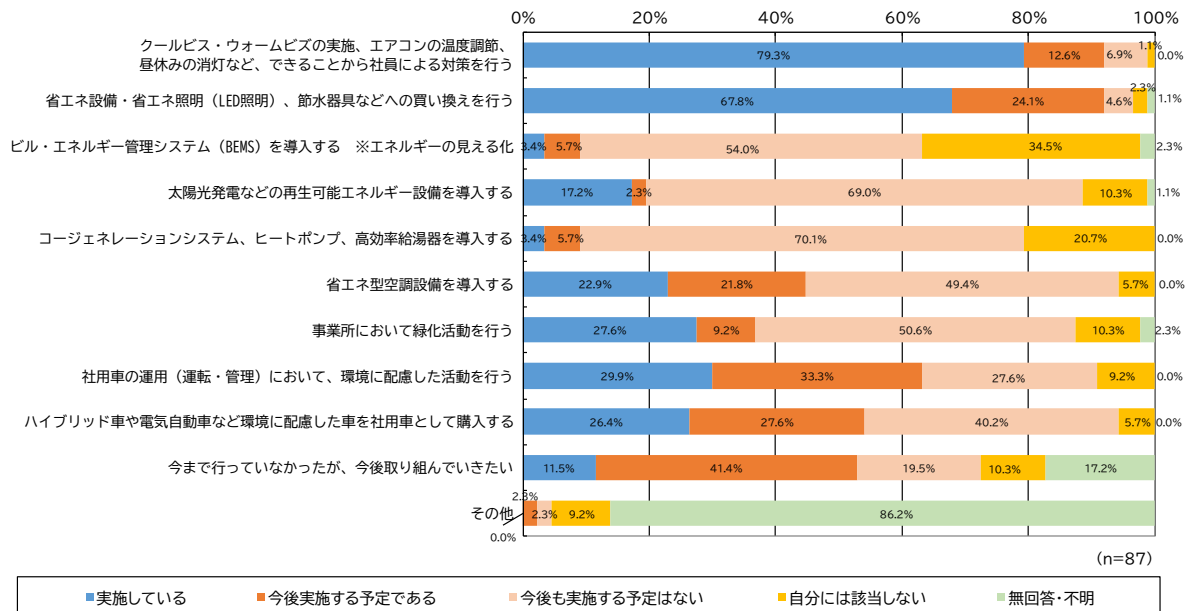
地球温暖化防止のため実施する企業活動についての考えで最も多かったのは、「省エネの取組は今後も強化していくが、再生可能エネルギーの導入はコストがかかるため難しい」で49.4%でした。

次に多かったのは、「より一層省エネの取組を強化し、再生可能エネルギーの導入に努めたい」で22.9%であり、再生可能エネルギー導入について前向きに検討している事業者は少ないことがうかがえます。



問7. 貴社における現在の地球温暖化防止策への実施状況と実施意向について、項目ごとにあてはまる番号を1つ選んでください。

行動内容	上段:回答数(人) 下段:割合(%)					
	実施している	今後実施する予定である	今後実施する予定はない	自分には該当しない	無回答・不明	回答計
クールビズ・ウォームビズの実施、エアコンの温度調節、昼休みの消灯など、できることから社員による対策を行う	69 (79.3)	11 (12.6)	6 (6.9)	1 (1.1)	0 (0.0)	87
省エネ設備・省エネ照明(LED照明)、節水器具などへの買い換えを行う	59 (67.8)	21 (24.1)	4 (4.6)	2 (2.3)	1 (1.1)	87
ビル・エネルギー管理システム(BEMS)を導入する ※エネルギーの見える化	3 (3.4)	5 (5.7)	47 (54.0)	30 (34.5)	2 (2.3)	87
太陽光発電などの再生可能エネルギー設備を導入する	15 (17.2)	2 (2.3)	60 (69.0)	9 (10.3)	1 (1.1)	87
コージェネレーションシステム、ヒートポンプ、高効率給湯器を導入する	3 (3.4)	5 (5.7)	61 (70.1)	18 (20.7)	0 (0.0)	87
省エネ型空調設備を導入する	20 (22.9)	19 (21.8)	43 (49.4)	5 (5.7)	0 (0.0)	87
事業所において緑化活動を行う	24 (27.6)	8 (9.2)	44 (50.6)	9 (10.3)	2 (2.3)	87
社用車の運用(運転・管理)において、環境に配慮した活動を行う	26 (29.9)	29 (33.3)	24 (27.6)	8 (9.2)	0 (0.0)	87
ハイブリッド車や電気自動車など環境に配慮した車を社用車として購入する	23 (26.4)	24 (27.6)	35 (40.2)	5 (5.7)	0 (0.0)	87
今まで行っていなかったが、今後取り組んでいきたい	10 (11.5)	36 (41.4)	17 (19.5)	9 (10.3)	15 (17.2)	87
その他	0 (0.0)	2 (2.3)	2 (2.3)	8 (9.2)	75 (86.2)	87



地球温暖化対策として日頃から取り組んでいる行動(10項目)で、実施率の最も高いものは「クールビズ・ウォームビズの実施、エアコンの温度調節、昼休みの消灯など、できることから社員による対策を行う」で79.3%でした。次に実施率の高いものは「省エネ設備・省エネ照明(LED照明)、節水器具などへの買い換えを行う」で67.8%でした。

残りの8項目は実施率が30%を下回っています。中でも、「ビル・エネルギー管理システム(BEMS)を導入する ※エネルギーの見える化」と「コージェネレーションシステム、ヒートポンプ、高効率給湯器を導入する」は実施率が3.4%と特に低くなっています。

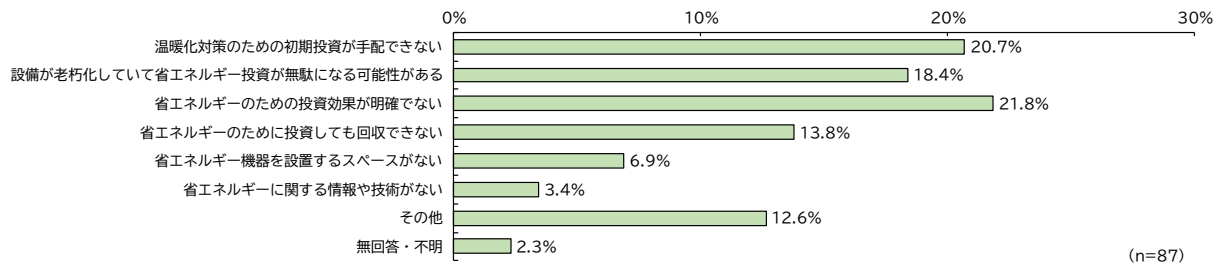
また、「太陽光発電などの再生可能エネルギー設備を導入する」、「コージェネレーションシステム、ヒートポンプ、高効率給湯器を導入する」の2項目は、今後も実施する予定がないと考えている方が60%を超えています。

問8. 貴社が温暖化対策に取り組むうえで障害になっている点はありませんか。1つ選んでください。

障害になっている点	回答数 (人)	割合 (%)
温暖化対策のための初期投資が手配できない	18	20.7%
設備が老朽化していて省エネルギー投資が無駄になる可能性がある	16	18.4%
省エネルギーのための投資効果が明確でない	19	21.8%
省エネルギーのために投資しても回収できない	12	13.8%
省エネルギー機器を設置するスペースがない	6	6.9%
省エネルギーに関する情報や技術がない	3	3.4%
その他	11	12.6%
無回答・不明	2	2.3%
合計	87	100.0%

地球温暖化対策に取り組むうえで障害になっている点としては、「省エネルギーのための投資効果が明確でない」との回答が21.8%で最も多くなっています

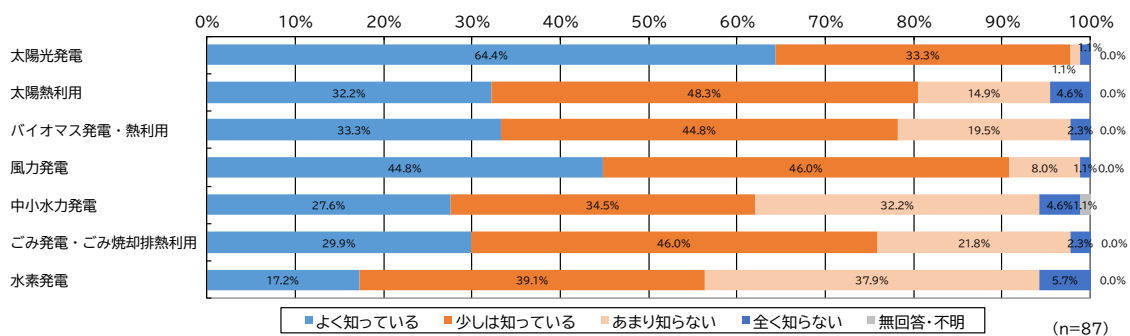
また、「温暖化対策のための初期投資が手配できない」、「設備が老朽化していて省エネルギー投資が無駄になる可能性がある」も続いて多くっており、資金面に関する障害が多いことがうかがえます。



3. 再生可能エネルギーについて

問9. 「再生可能エネルギー」について、どの程度知っていますか。1つだけ選んでください。

再生可能エネルギーの種類	上段:回答数(人) 下段:割合(%)					回答計
	よく知っている	少しは知っている	あまり知らない	全く知らない	無回答・不明	
太陽光発電	56 (64.4)	29 (33.3)	1 (1.1)	1 (1.1)	0 (0.0)	87
太陽熱利用	28 (32.2)	42 (48.3)	13 (14.9)	4 (4.6)	0 (0.0)	87
バイオマス発電・熱利用	29 (33.3)	39 (44.8)	17 (19.5)	2 (2.3)	0 (0.0)	87
風力発電	39 (44.8)	40 (46.0)	7 (8.0)	1 (1.1)	0 (0.0)	87
中小水力発電	24 (27.6)	30 (34.5)	28 (32.2)	4 (4.6)	1 (1.1)	87
ごみ発電・ごみ焼却排熱利用	26 (29.9)	40 (46.0)	19 (21.8)	2 (2.3)	0 (0.0)	87
水素発電	15 (17.2)	34 (39.1)	33 (37.9)	5 (5.7)	0 (0.0)	87

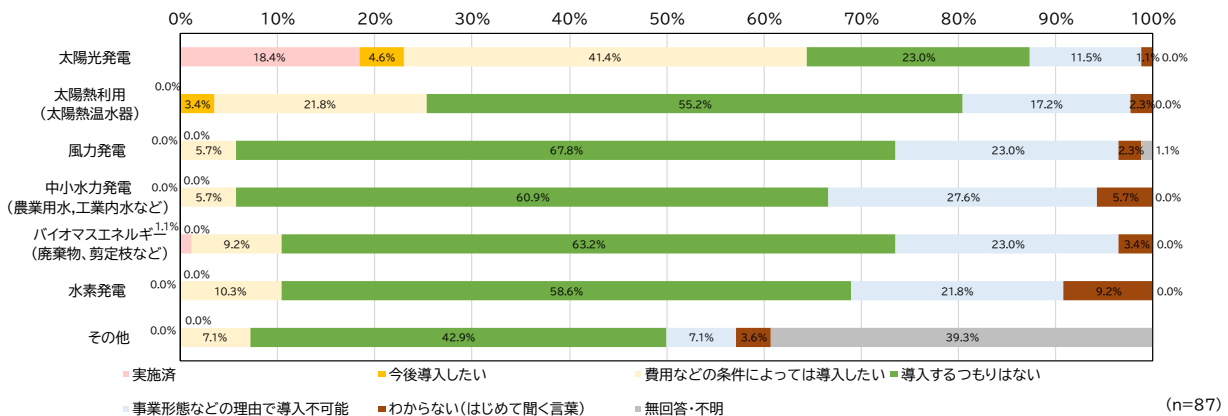


「太陽光発電」、「風力発電」は、「よく知っている」と「少しは知っている」をあわせた回答者が8割を超えており、認知度の高さがうかがえます。

一方で、「あまり知らない」、「全く知らない」を合わせた数が最も多かったのは、「水素発電」で4割を超えています。7つの中で最も認知度が低いと考えられます。

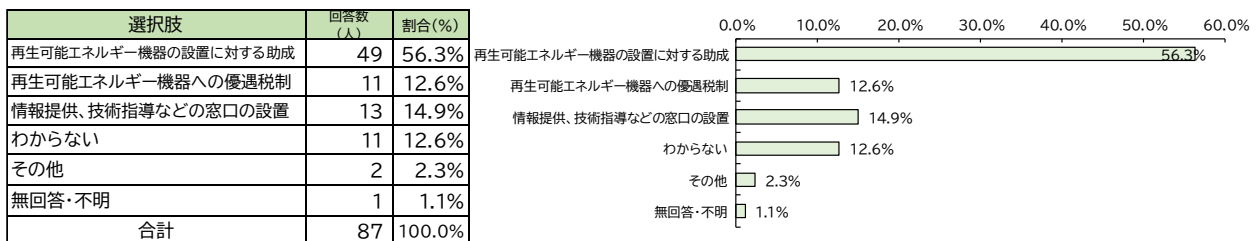
問10. 再生可能エネルギーの導入についてどのようにお考えですか。

再エネ関連設備	上段:回答数(人) 下段:割合(%)							回答計
	実施済	今後導入したい	費用などの条件によっては導入したい	導入するつもりはない	事業形態などの理由で導入不可能	わからない(はじめて聞く言葉)	無回答・不明	
太陽光発電	16 (18.4)	4 (4.6)	36 (41.4)	20 (23.0)	10 (11.5)	1 (1.1)	0 (0.0)	87
太陽熱利用 (太陽熱温水器)	0 (0.0)	3 (3.4)	19 (21.8)	48 (55.2)	15 (17.2)	2 (2.3)	0 (0.0)	87
風力発電	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (5.7)	59 (67.8)	20 (23.0)	2 (2.3)	1 (1.1)	87
中小水力発電 (農業用水,工業内水など)	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (5.7)	53 (60.9)	24 (27.6)	5 (5.7)	0 (0.0)	87
バイオマスエネルギー (廃棄物,剪定枝など)	1 (1.1)	0 (0.0)	8 (9.2)	55 (63.2)	20 (23.0)	3 (3.4)	0 (0.0)	87
水素発電	0 (0.0)	0 (0.0)	9 (10.3)	51 (58.6)	19 (21.8)	8 (9.2)	0 (0.0)	87
その他	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (7.1)	12 (42.9)	2 (7.1)	1 (3.6)	11 (39.3)	28



再生可能エネルギーの導入について、「実施済」で最も多かったのは、「太陽光発電」(18.4%)で、実施率は全体的に低くなっています。
また、「今後導入したい」、「費用などの条件などによっては導入したい」を合わせた導入意向の最も多かったのは「太陽光発電」(46.0%)、続いて、「太陽熱利用(太陽熱温水器)」(25.2%)となっています。その他の再生可能エネルギーは導入意向が約1割程度となっています。

問11. 貴社において、上記のような再生可能エネルギーの導入が広く進められるために、どんなことが必要ですか。1つ選んでください。

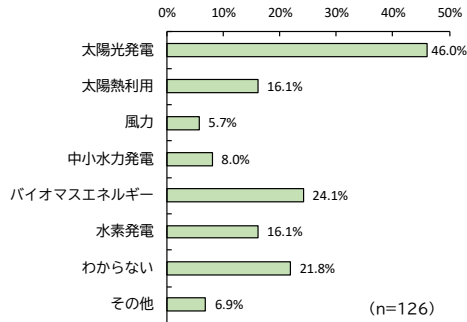


(n=87)

再生可能エネルギーの導入が広く進められるために必要なこととして、最も多く上げられたのは「再生可能エネルギー機器の設置に対する助成」(56.3%)でした。
また、続いて多かったのは、「情報提供,技術指導などの窓口の設置」で14.9%となっています。

問12. 高砂市において導入を進めることが、特に重要と考える再生可能エネルギーは何ですか。(複数回答可)

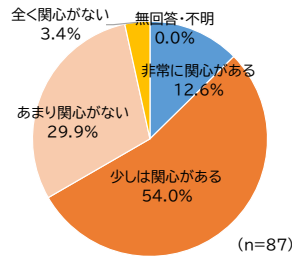
選択肢	回答数(人)	割合(%)
太陽光発電	40	46.0%
太陽熱利用	14	16.1%
風力	5	5.7%
中小水力発電	7	8.0%
バイオマスエネルギー	21	24.1%
水素発電	14	16.1%
わからない	19	21.8%
その他	6	6.9%
合計	126	-



導入を進めることが特に重要と考える再生可能エネルギーでは、「太陽光発電」46.0%で最も多くなりました。続いて、「バイオマスエネルギー」(24.1%)となっています。

問13. このような地域で連携して、太陽光発電設備を導入する方法(仕組み)について、ご関心・興味がありますか。1つ選んでください。

選択肢	回答数(人)	割合(%)
非常に関心がある	11	12.6%
少しは関心がある	47	54.0%
あまり関心がない	26	29.9%
全く関心がない	3	3.4%
無回答・不明	0	0.0%
合計	87	100.0%

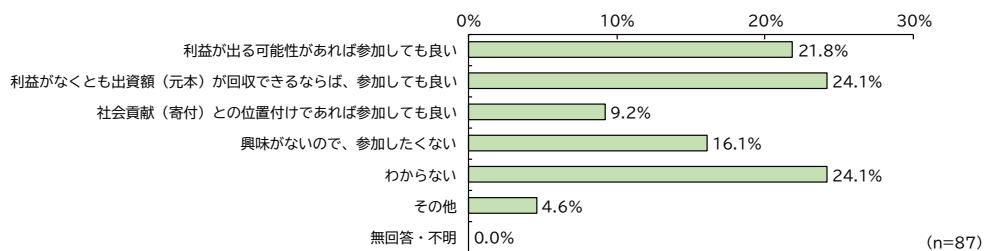


太陽光発電設備の導入方法について、「非常に関心がある」、「少しは関心がある」をあわせた回答者数は65%以上であり、関心が高いことがうかがえます。「全く関心がない」と答えた方は、全体の3.4%となっています。

問14. 太陽光発電設備の導入方法(仕組み)への参加(出資)について、お伺いします。1つ選んでください。

補助制度を創設してほしい設備	回答数(人)	割合(%)
利益が出る可能性があれば参加しても良い	19	21.8%
利益がなくとも出資額(元本)が回収できるならば、参加しても良い	21	24.1%
社会貢献(寄付)との位置付けであれば参加しても良い	8	9.2%
興味がないので、参加したくない	14	16.1%
わからない	21	24.1%
その他	4	4.6%
無回答・不明	0	0.0%
合計	87	100.0%

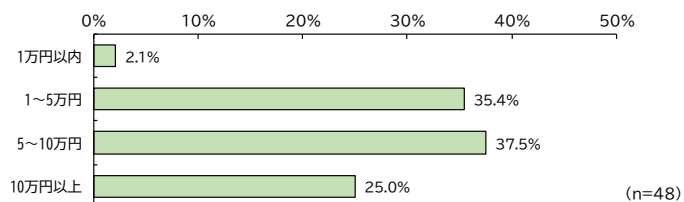
太陽光発電設備の導入方法への参加について、「利益がなくとも出資額(元本)が回収できるならば、参加しても良い」と「わからない」が24.1%となっています。条件は異なるが「参加しても良い」と回答した方は、全体の55.1%となっています。



問15. 問14で1~3に○を付けた方にお聞きします。

「共同出資」の取組を高砂市で実施するとしたら、どの程度の金額なら出資しても良いと思いますか。1つ選んでください。

選択肢	回答数(人)	割合(%)
1万円以内	1	2.1%
1~5万円	17	35.4%
5~10万円	18	37.5%
10万円以上	12	25.0%
計	48	100.0%

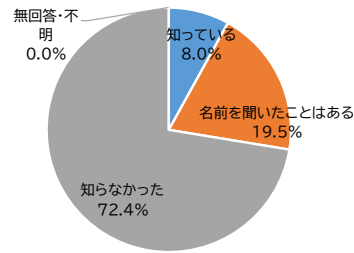


共同出資額として最も多かったのは「5~10万円」でした。

5. 太陽光発電設備等と省エネの混合した取組について

問16. 近頃、ビルや工場等において省エネルギー化の推進が強く求められている中で、「ZEB(ゼブ)(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)」を導入する動きが広がっています。あなたは「ZEB」を知っていましたか。1つ選んでください。

選択肢	回答数 (人)	割合(%)
知っている	7	8.0%
名前を聞いたことはある	17	19.5%
知らなかった	63	72.4%
無回答・不明	0	0.0%
合計	87	100.0%

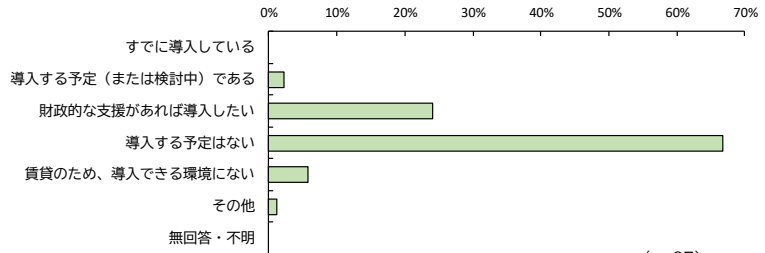


「ZEB」について最も多かった回答は「知らなかった」(72.4%)であり、「ZEB」の認知度は低いことがわかります。

(n=87)

問17. あなたは、ZEBの導入に対してどのようにお考えですか。

選択肢	回答数 (人)	割合(%)
すでに導入している	0	0.0%
導入する予定(または検討中)である	2	2.3%
財政的な支援があれば導入したい	21	24.1%
導入する予定はない	58	66.7%
賃貸のため、導入できる環境にない	5	5.7%
その他	1	1.1%
無回答・不明	0	0.0%
合計	87	100.0%



(n=87)

ZEBの導入について最も多かった回答は、「導入する予定はない」で66.7%となっています。
また、「すでに導入している」と回答した方はいませんでした。

6. 最後にご意見やご要望、ご提案をお聞かせください。

問18. 再生可能エネルギーについてのご意見やご要望、ご提案がありましたらご記入ください。

87名の回答者の中から、10件のご意見・ご要望等をいただきました。
いただいた内容は次の区分で分類し、次ページ以降に整理したとおりです。

- 取り組みの方向性等に関するご意見【3件】
- 再生可能エネルギーの導入推進に懐疑的なご意見、もしくは進めていく上での条件に関するご意見【2件】
- 再生可能エネルギーに係る情報提供に関するご意見・ご要望等【1件】
- 再生可能エネルギーの利用に関するご意見・ご要望等【1件】
- その他のご意見【3件】

3. 用語集

■ 1.5°C特別報告書

地球温暖化を2°C、又はそれ以上ではなく1.5°Cに抑制することは明らかな便益があるため、1.5°C未満の抑制が必要であるという、2018（平成30）年にIPCCが発表した報告書のことです。

■ COOL CHOICE（クールチョイス）

脱炭素社会づくりに貢献する「製品への買換え」、「サービスの利用」、「ライフスタイルの選択」など地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動です。

■ COP21（コップ21）

COPとはConference of Parties（締約国会議）の略で、COP21は、2015（平成27）年12月にフランス・パリで行われた国連気候変動枠組条約（UNFCCC）における「第21回目締約国会議」を指します。

■ ESCO（エスコ）

省エネルギーに関する包括的なサービス（省エネ診断、設計、改修工事、維持管理等）を提供して省エネルギー効果を保証し、それにより得られる省エネルギー削減額の一部を事業者（Energy Service Company）が報酬として受取る事業です。

■ FIT（フィット）

再生可能エネルギーの固定価格買取制度（Feed-in Tariff）のことを指します。一般家庭や事業者が再生可能エネルギーで発電した電気を、電力会社が買い取ることを国が約束する制度です。

■ ICT（アイシーティー）

Information and Communication Technologyの略で、情報・通信に関する技術の総称のことです。

■ IPCC（アイピーシーシー）

Intergovernmental Panel on Climate Changeの略で、気候変動に関する政府間パネルのことです。気候変動の原因や影響について、最新の科学的・技術的・社会的な知見を集約し、評価や助言を行っている国際機関です。IPCCが発表する報告書の知見や数値資料などは、温室効果ガス排出量削減目標を定めた京都議定書の基礎にもなるなど、国際的に重視されています。

■ J-クレジット

省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの活用による二酸化炭素等の排出削減量や、適切な森林管理による二酸化炭素等の吸収量を、クレジット（温室効果ガスの排出権）として国が認証し、売買取引の対象とする制度です。

■ MaaS（マース）

Mobility as a Serviceの略で、地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位（人が目的を持って出発地から到着地へと移動する単位）での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービスであり、観光や医療等の目的地における交通以外のサービス等との連携により、移動の利便性向上や地域の課題解決にも資する重要な手段となるものです。

■ RE100（アールイー100）

企業が自らの事業の使用電力を100%再エネで賄うことをめざす国際的な取組で、世界や日本の企業が参加しています。

■ REアクション（アールイーアクション）

企業、自治体、教育機関、医療機関等の団体が使用電力を100%再生可能エネルギーに転換する意思と行動を示し、再エネ100%利用を促進する新たな枠組みです。

■ SBT（エスピーティー）

Science-based targetsの略で、産業革命以来の気温上昇を「2°C未満」に抑えることを目指して、各企業が設定した温室効果ガスの排出削減目標とその達成に向けた国際イニシアチブです。

■ TCFD（ティーシーエフディー）

気候関連財務情報開示タスクフォース（Task force on Climate-related Financial Disclosure）を意味する言葉です。気候変動についての対策を検討するために2015（平成27）年に設立された組織のことです。

■ ZEB（ゼブ）

Net Zero Energy Buildingの略で、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のことです。

■ イノベーション

新しいものを生産する、あるいは既存のものを新しい方法で生産することで、それまでのモノ・仕組みなどに対して全く新しい技術や考え方を取り入れて新たな価値を生み出して社会的に大きな変化を起こすことを指します。

■ エネファーム

家庭用燃料電池の愛称であり、ガスから取り出した水素と空気中の酸素を化学反応させて発電し、このとき発生する熱でお湯もつくる高効率なシステムのことです。企業などに関係なく統一名称として使用されています。

■ 温室効果ガス

大気中の二酸化炭素（CO₂）やメタン（CH₄）などのガスは太陽からの熱を地球に封じ込め、地表を暖める働きがあります。これらのガスを温室効果ガスといい、地球温暖化対策の推進に関する法律では、二酸化炭素（CO₂）、メタン（CH₄）、一酸化二窒素（N₂O）、ハイドロフルオロカーボン類（HFCs）、パーフルオロカーボン類（PFCs）、六フッ化硫黄（SF₆）、三フッ化窒素（NF₃）の7種類としています。

■ 温対法

正式名称を「地球温暖化対策の推進に関する法律」と言い、別名「地球温暖化対策推進法」と省略する場合があります。

温対法は、地球温暖化対策に取り組むための枠組みを定めた法律であり、具体的には地球温暖化の原因である「温室効果ガス」の排出量に関する報告義務および排出量抑制を課しています。

■ カーシェアリング

1台の自動車を複数の人が共同で利用する自動車の利用形態のことで、通常は会員制などとし、レンタカーに比べて短時間での利用を想定しています。

■ カーボンオフセット

自らの日常生活や企業活動等による温室効果ガス排出量のうち、削減が困難な量の全部又は一部を、ほかの場所で実現した温室効果ガスの排出削減や森林の吸収等をもって埋め合わせる活動のことです。

■ カーボンニュートラル

温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、つまり二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量から、森林などによる吸収量を差し引いてゼロを達成することです。

■ 気候変動枠組条約

正式名称を「気候変動に関する国際連合枠組条約」といい、地球温暖化が自然の生態系等に悪影響を及ぼすおそれがあることを背景に、大気中の温室効果ガスの濃度を安定化させることを目的として、さまざまな取組みの原則、措置などを定めています。

■ コージェネレーション

コージェネレーションとは、一つのエネルギー源から熱と電気など二つ以上の有効なエネルギーを取り出して利用するシステムで、省エネ効果の高いシステムといえます。例えば、石油や天然ガスなどの燃料を燃やして得た熱を動力や電力に変換し、その排熱をプロセス蒸気や冷暖房などの熱源として利用します。

■ 再生可能エネルギー

有限で枯渇の危険性がある石油・石炭などの化石燃料や原子力と違い、自然現象によって半永久的に得られ、継続して利用できるエネルギーのことです。

■ 省エネ

「省エネルギー」の略で、石油や石炭、天然ガスなど、限りあるエネルギー資源がなくなってしまうことを防ぐため、エネルギーを効率よく使うことをいいます。

■ ゼロカーボンシティ

2050（令和32）年にCO₂（二酸化炭素）を実質ゼロにすることを旨とする首長自らが又は自治体として公表した地方自治体のことです。

■ 脱炭素社会

パリ協定に規定された「地球温暖化を1.5°Cに抑制する」という目標達成のため、今世紀後半に温室効果ガスの人為的な排出量と吸収源による除去量との均衡を達成し、世界全体の人為的な温室効果ガス排出量を実質的にゼロにした社会のこと。

■ 地域新電力

地域内の発電電力を最大限に活用し、電気の地産地消を目標として、地域経済の活性化を目指し、主に地域内の公共施設や民間企業、家庭に電力を供給する小売電気事業を「地域新電力」といいます。そのなかで特に自治体が出資するものを「自治体新電力」といいます。

■ 地球温暖化

地球規模の環境問題の一つで、二酸化炭素、メタン、亜酸化窒素、フロン等の温室効果ガスによって、地球の気温が上昇する現象をいいます。 → 温室効果ガスを参照

■ 地方創生

地方創生とは、少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくことを目指すものです。

■ トップランナー制度

エネルギー多消費機器のうち省エネ法で指定する特定機器の省エネルギー基準を、各々の機器において、基準設定時に商品化されている製品のうち「最も省エネ性能が優れている機器（トップランナー）」の性能以上に設定する制度です。これにより、省エネ・省CO₂化が進むと期待されます。

■ ナッジ

行動科学の知見の活用により、人々が自分自身にとってより良い選択を自発的に取れるように手助けする政策手法のことです。

■ 排出係数

電気やガス等のエネルギー使用から排出される温室効果ガス排出量を求めるための係数のことです。温室効果ガス排出量は、各エネルギー源の使用量に該当する排出係数を乗じることで算出できます。

■ パリ協定

2015（平成27）年11月にフランスのパリ郊外で開催された国連気候変動枠組条約第21回締約国会議（COP21）で採択された気候変動に関する国際条約で、2016（平成28）年11月に発効されました。『世界の平均気温上昇を産業革命前と比較して「2°Cよりも十分に低く」抑え（2°C目標）、さらに「1.5°Cに抑えるための努力を追求する」こと（1.5°C目標）』が世界共通の長期目標として掲げられています。

■ フードドライブ

主に家庭で余っている食べ物を持ち寄り集めて、地域の福祉団体や、フードバンク等へ寄付することです。家庭で余っている食品を捨てるのではなく、必要としている人に届けることを目的としています。「ドライブ」とは、「寄付」を意味します。

■ マイクログリッド

大規模発電所の電力供給に頼らず、コミュニティでエネルギー供給源と消費施設を持ち地産地消を目指す、小規模なエネルギーネットワークのことです。

■ レジリエンス

災害等の想定外の事態に対し社会や組織が機能を速やかに回復する強靭さを意味します。

■ ワンウェイプラスチック

一般的に一度だけ使用した後に廃棄することが想定されるプラスチック製のもののことです。

■ ワンストップ化

行政でのワンストップ化とは、行政の手続きを、1ヶ所の窓口で終わらせられるようにすることです。